令和7年度新規予防接種事業について

带状疱疹ワクチン定期予防接種について

1 目的

国において、個人の発病またはその重症化を防止することを目的とし、带状疱疹が予防接種法上のB類疾病に位置づけられることになった。

带状疱疹ワクチンの定期接種化に伴い、区でも带状疱疹ワクチンの定期予防接種を実施する。

2 内容

(1) 対象者

- ① 65歳の方
- ② 60～64歳のヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する方
- ③ 70～100歳までの5歳刻みの方（経過措置）
※令和7年度に限り100歳以上の方全員を対象とする。

(2) 対象ワクチンおよび助成回数

- ① 生ワクチン（ビケン） 1回まで
- ② 不活化ワクチン（シングリックス） 2回まで
※すでに一部の接種を任意接種として行っている場合、残りの接種を定期接種とする。
※交接種は不可

(3) 接種方法

- ① 生ワクチン 皮下注射
- ② 不活化ワクチン 筋肉内注射

3 带状疱疹ワクチン任意予防接種費用一部助成事業の対象者変更

(1) 対象者

次の①から③までのすべての項目に該当している区民

- ① 50歳～64歳の方

- ② これまでに帯状疱疹ワクチンの接種費用の助成を受けたことがない方
- ③ 帯状疱疹ワクチン定期予防接種の対象でない方

(2) 経過措置

(1)の対象者に加えて、対象者変更に伴う経過措置として、次の①および②の項目に該当している方も対象者とする。

- ① 令和6年度中に不活化ワクチンの1回目接種を完了し、2回目接種が完了していない方
- ② 令和6年度中に交付した予診票の有効期限が過ぎていない方（1回目接種から最大6か月間）

4 周知方法

区のおしらせ及び区ホームページに掲載する。

男性へのHPVワクチン任意予防接種について

1 目的

現在女性のみがHPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンの定期予防接種の対象となっており、男性が接種する場合は全額自己負担での任意予防接種となっている。

令和7年度は、被接種者の費用負担の軽減を図ることを目的とし、任意予防接種の費用を助成する。

2 内容

- (1) 対象者 小学6年生～高校1年生相当の男性
- (2) 助成回数 3回まで
- (3) 実施方法 区内接種実施医療機関での個別接種
- (4) 本人負担 無料

3 周知方法

区のおしらせ及び区ホームページに掲載する。

HPVワクチンキャッチアップ接種の延長（経過措置）について

1 経緯

令和4年4月1日から積極的勧奨を再開したHPVワクチンの定期予防接種について、積極的勧奨差控えにより接種機会を逃した方に対して、公平な接種機会を確保するため、同日から令和7年3月31日までを実施期間としてHPVワクチンキャッチアップ接種を実施している。

この度、令和6年11月27日開催の厚生科学審議会（予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会）にて、一定の条件付きで接種期間を延長する経過措置を実施する方針が決定されたため、区においても対応を行う。

2 内容

(1) 対象者

HPVワクチンキャッチアップ接種の対象であった方（平成9年度から平成19年度生まれまでの女性）または令和6年度が通常定期接種の最終年度である方（平成20年度生まれの女性）で、令和4年度から令和6年度までに1回以上接種し、3回の接種が完了していない方

(2) 実施期間

令和7年度末（令和8年3月31日）まで

(3) 予診票の取扱い

令和6年度中に予診票交付申請を受けた際は、令和6年度中に3回接種の完了が見込まれない場合も有効期限が令和6年度末までの予診票を3枚交付し、令和7年度の経過措置においても同じ予診票を使用する。

令和7年度に接種を受ける際は、実施医療機関において有効期限の印字を二重線で修正し対応する。

3 周知方法

区のおしらせ及び区ホームページに掲載する。